平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場会社名　株式会社 パイオラックス　　上場取引所　東
コード番号　5988　URL　http://www.piolax.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 島津　幸彦
問合せ先責任者　(役職名) 経営管理部長　(氏名) 長村　由紀夫　TEL 045-731-1211

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	34,439	0.7	3,590	△12.6	3,984	△13.9	2,627	△8.6
23年3月期第3四半期	34,201	23.7	4,107	156.0	4,627	121.9	2,874	122.5

(注) 包括利益　24年3月期第3四半期　1,877百万円　(△17.9%)　23年3月期第3四半期　2,288百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	209.25	―
23年3月期第3四半期	227.40	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	56,196	47,939	84.8
23年3月期	55,861	46,703	83.1

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　47,643百万円　23年3月期　46,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	15.00	―	15.00	30.00
24年3月期	―	15.00	―		
24年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	△1.9	4,000	△18.3	4,300	△23.6	2,800	△21.0	221.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 無
② ①以外の会計方針の変更	： 無
③ 会計上の見積りの変更	： 無
④ 修正再表示	： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	13,084,700 株	23年3月期	13,084,700 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	606,013 株	23年3月期	445,924 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	12,558,729 株	23年3月期3Q	12,638,792 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興に向けた企業の設備投資や個人消費に改善の兆しが見られたものの、欧州の金融不安に伴う欧米経済の停滞、円高の進行やタイの洪水も相まって、景気は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、現在では震災前の生産状況に戻ってきてはおりますが、主に上半期前半において地震による直接的な被害に加え、原材料・部品調達に対する支障によって生産・販売活動が十分に出来なかった結果、国内生産台数は6,492千台と前年同期比8.4%の減少となりました。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、震災による部品供給問題にいち早く対応してお取引先へのニーズを確実に補足し、併せて新興国を中心とした拡販活動を継続的に推進した結果、連結売上高は前期比0.7%増の344億３千９百万円となりました。

一方利益面におきましては、より一層の合理化等を推進いたしましたが主に震災対応の費用が嵩んだこと等により連結営業利益は35億９千万円（前期比12.6%減）、連結経常利益は39億８千４百万円（前期比13.9%減）、連結四半期純利益は、26億２千７百万円（前期比8.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（自動車関連等）

新興国を中心としたグローバル拡販を積極的に推進しましたが、東日本大震災の影響や、タイの洪水被害等の影響により売上高は322億９千３百万円（前期比0.1%減）となりました。一方利益面においては、収益改善活動を推進いたしましたが、営業利益は38億７千４百万円（前期比12.3%減）となりました。

（医療機器）

既存の製品拡販に加え新製品の積極的な営業活動を推進した結果、売上高は21億４千６百万円（前期比15.1%増）となり、営業利益は１億５千６百万円（前期比58.7%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期の資産合計は、現金及び預金等の減少がありましたが、受取手形及び売掛金、有形固定資産等の増加により３億３千４百万円増加し、561億９千６百万円となりました。

負債合計は、未払法人税等の減少により９億１百万円減少し、82億５千６百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金等の増加により12億３千６百万円増加し、479億３千９百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当年度の業績予想については、概ね予想の範囲内で推移しているため、平成23年８月８日の通期連結業績及び配当予想に関するお知らせから変更ありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,035	9,985
受取手形及び売掛金	9,971	12,530
有価証券	287	187
商品及び製品	2,500	2,627
仕掛品	1,112	1,273
原材料及び貯蔵品	1,066	1,099
その他	1,590	1,784
貸倒引当金	△31	△37
流動資産合計	29,532	29,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,005	4,062
機械装置及び運搬具（純額）	4,195	4,135
工具、器具及び備品（純額）	1,440	1,454
土地	4,672	4,698
リース資産（純額）	30	30
建設仮勘定	646	846
有形固定資産合計	14,991	15,227
無形固定資産	697	458
投資その他の資産		
投資有価証券	9,867	9,997
その他	773	1,062
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	10,640	11,059
固定資産合計	26,329	26,745
資産合計	55,861	56,196

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,124	2,532
短期借入金	184	343
未払法人税等	1,352	385
引当金	828	369
その他	2,433	2,508
流動負債合計	6,923	6,140
固定負債		
引当金	47	65
資産除去債務	17	18
負ののれん	34	9
その他	2,134	2,023
固定負債合計	2,234	2,116
負債合計	9,158	8,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,696	2,696
利益剰余金	42,976	45,227
自己株式	△353	△630
株主資本合計	48,280	50,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	429	290
為替換算調整勘定	△2,277	△2,900
その他の包括利益累計額合計	△1,848	△2,610
少数株主持分	271	296
純資産合計	46,703	47,939
負債純資産合計	55,861	56,196

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日)
売上高	34,201	34,439
売上原価	25,174	25,841
売上総利益	9,027	8,598
販売費及び一般管理費	4,920	5,008
営業利益	4,107	3,590
営業外収益		
受取利息	16	16
受取配当金	15	21
持分法による投資利益	531	316
その他	112	113
営業外収益合計	676	467
営業外費用		
支払利息	9	10
固定資産廃棄損	12	8
為替差損	109	29
その他	24	24
営業外費用合計	156	73
経常利益	4,627	3,984
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17	－
工場移転損失引当金繰入額	125	－
災害損失引当金繰入額	－	11
災害による損失	－	0
特別損失合計	142	11
税金等調整前四半期純利益	4,485	3,973
法人税等	1,600	1,312
少数株主損益調整前四半期純利益	2,884	2,660
少数株主利益	10	32
四半期純利益	2,874	2,627

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,884	2,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△48
為替換算調整勘定	△540	△587
持分法適用会社に対する持分相当額	△65	△146
その他の包括利益合計	△596	△782
四半期包括利益	2,288	1,877
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,297	1,865
少数株主に係る四半期包括利益	△9	11

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	32,335	1,865	34,201
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	32,335	1,865	34,201
セグメント利益	4,420	98	4,519

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位:百万円）

利益	金額
報告セグメント計	4,519
全社費用（注）	△455
セグメント間取引消去	34
その他の調整額	9
連結損益計算書の営業利益	4,107

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	32,293	2,146	34,439
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	32,293	2,146	34,439
セグメント利益	3,874	156	4,030

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位:百万円）

利益	金額
報告セグメント計	4,030
全社費用（注）	△475
セグメント間取引消去	36
その他の調整額	△0
連結損益計算書の営業利益	3,590

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第３四半期連結累計期間において、平成23年８月８日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この自己株式の取得及び単元未満株式の買取りにより、自己株式が277百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において自己株式が630百万円となりました。

（６）重要な後発事象

当第３四半期連結会計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）
当社は平成24年２月13日開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。 １．自己株式の取得を行う理由 経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行のため。 ２．取得に係る事項の内容 （１）取得対象株式の種類 当社普通株式 （２）取得し得る株式の総数 50,000株 （上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合0.39%） （３）株式の取得価額の総額 100百万円（上限） （４）取得期間 平成24年２月14日～平成24年２月29日